

令和8年3月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和8年3月分について、輸出額は「有機化合物」などが減少したものの、「石油製品」、「自動車の部分品」などが増加したことから、対前年同月比 8.6%の増加となった。また、輸入額は「石炭」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが減少したことから同 23.3%の減少となった。
その結果、差引額は510億円（同 49.3%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	895億円	+8.6%	1,405億円	▲23.3%	▲510億円	▲49.3%
	3ヵ月連続の増加		5ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	178億円	+159.5%	輸入	増加品目	(1) 石炭	42億円	+24.0%
		(2) 自動車の部分品	104億円	+43.0%			(2) 有機化合物	18億円	+34.7%
		(3) 自動車	76億円	+21.5%			(3) 原動機	9億円	+74.5%
	減少品目	(1) 有機化合物	40億円	▲45.7%		減少品目	(1) 原油及び粗油	810億円	▲24.7%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	14億円	▲67.2%			(2) 石油製品	18億円	▲77.3%
		(3) 染料・なめし剤及び着色剤	24億円	▲37.9%			(3) 自動車	10億円	▲81.8%
地域別動向	アジア、北米が増加、大洋州は減少			地域別動向	中東、中東欧・ロシア等が減少、アフリカは増加				

(参考) ドルレートは、156.60円（前年同月比4.7%、7.05円の円安）であった。
注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。